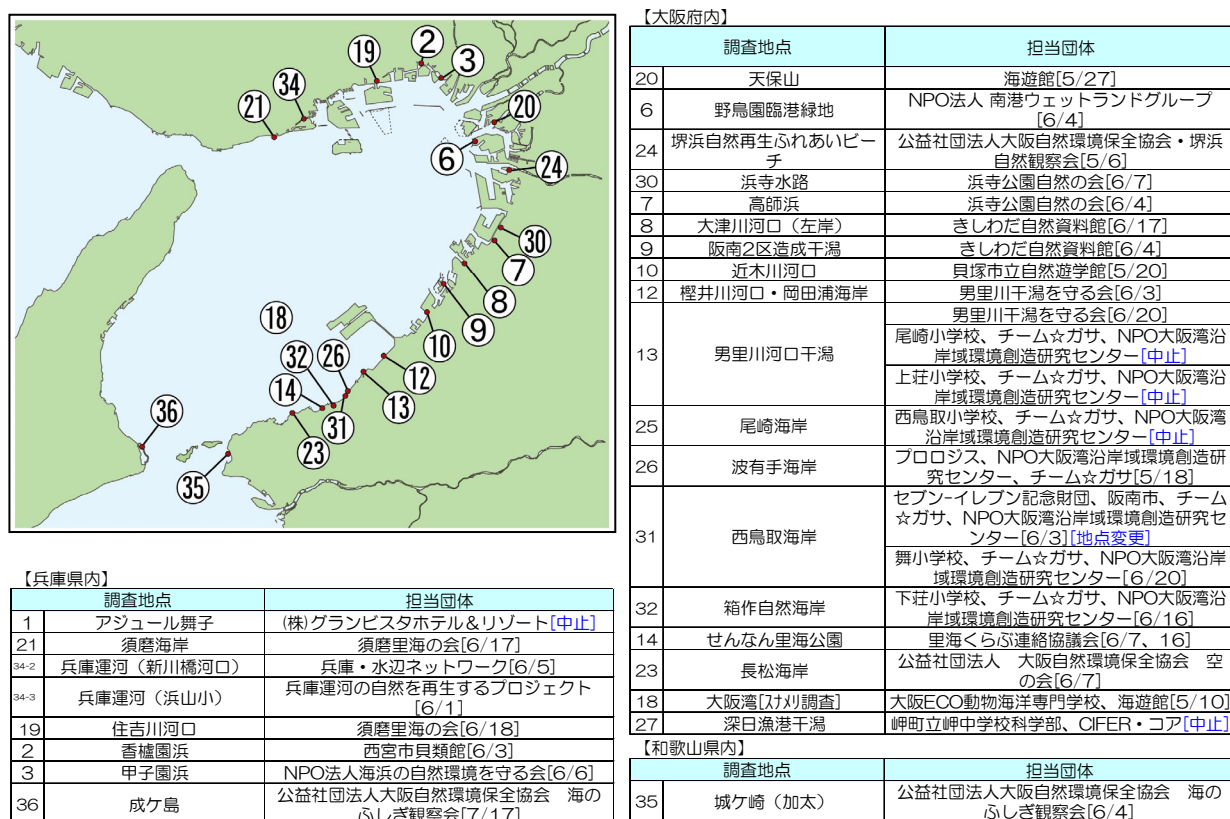


## 令和5年度 第16回大阪湾生き物一斉調査について

### 1. 調査概要

令和5年度は、6月3日を中心に、大阪湾沿岸域の25地点において調査を実施する予定でしたが、降雨等の影響により、大阪湾沿岸域の22地点（アマモ場調査3地点を含む）と大阪湾内（スナメリ調査）で、23団体、1,048名が参加して、第16回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地点及び担当団体等は図1に示すとおりです。



注) アマモ場調査は②波有手海岸、③西鳥取海岸、②箱作自然海岸で実施した。

図1 令和5年度の調査地点一覧

### 【大阪湾海岸生物ウェルカムリスト（無脊椎動物・海藻・海草、2022年版）※】

大阪湾海岸生物ウェルカムリストとは、大阪湾の環境改善や干潟・藻場等の整備等の大阪湾再生の取り組みにより、大阪湾において、今後、新たに定着あるいは分布範囲の拡大を期待する生物種を選定したリストのことです。以下のとおりランク付けしています。

- A：大阪湾内では近年（1950年代以降）の記録が無い（ただし近隣海域では記録されている）か、記録がごく限られていて、生育・生息基盤が脆弱であると考えられる種。〔目安として、文献等による記録・情報が0～2箇所以下〕
- B：大阪湾内では産地が限られていて、今後分布の拡大が期待される種。〔同3～5箇所〕
- C：大阪湾内では多数の地点で記録され、かつ良好な環境（水質・底質・地形）\*の目安となる種。〔同6箇所以上〕

\*大阪湾再生行動計画（第二期）では、目標要素「豊かな魚庭（なにわ）の海」の施策の一つとして、「藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸等の整備」を掲げています。

このため、大阪湾再生行動計画に基づいて取り組まれている湾内の水質改善と干潟、砂浜、藻場、浅場、親水護岸等の整備によって期待される生物にとって好ましい環境を対象としました。

## 2. 出現種

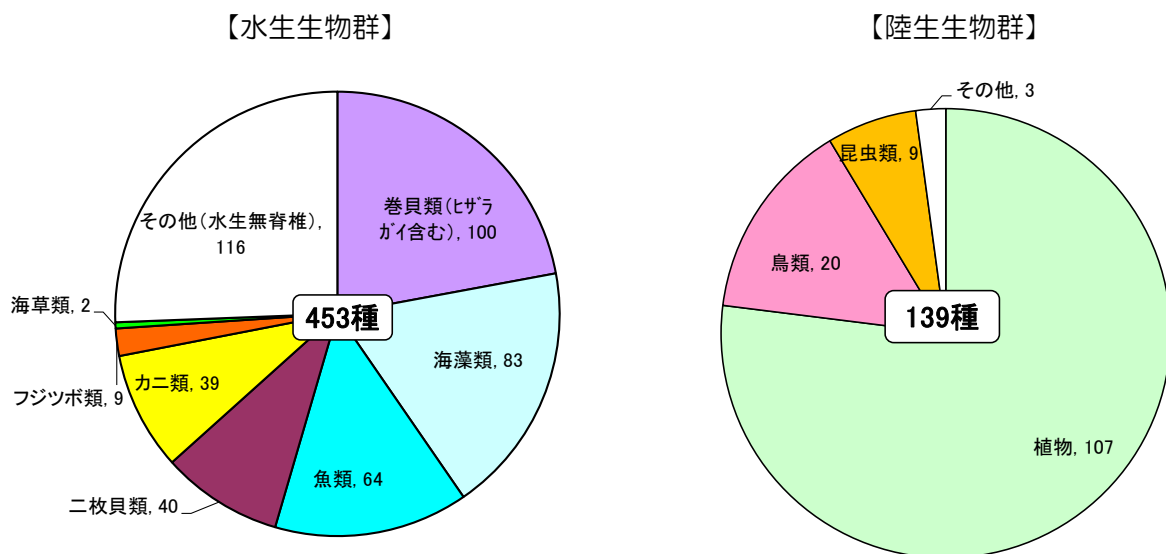
本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を図2、表1に示しました。

種名まで判別した種類は全体で592種（うち、調査シート掲載種42種）でした。

全体の出現種については、水生生物群では、海藻類及び海草類が85種、動物は貝類が140種（巻き貝100種、二枚貝40種）、魚類が64種、カニ類が39種等でした。また、陸生生物群では、陸上植物が107種、鳥類が20種、昆虫類が9種等でした。

出現種のうち、大阪湾海岸生物ウェルカムリストに該当した種類は、Aランクが海藻類のエナシダシア、巻き貝類のイボキサゴの2種、Bランクが海藻類のフトモズク、貝類のイボウミニナ、サクラガイ、カニ類のトリウミアカイソモドキ等の12種、Cランクが海草類のアマモ、貝類のウミニナ、オオノガイ、カニ類のアシハラガニ等の39種で、合計53種でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF、干潟の絶滅危惧動物図鑑の各RDBと環境省のレッドリスト（2020年）に掲載されている種に該当するものを付表1に示しました。全体の貴重種としては82種類（属含む、陸生種除く）が該当しました。このうち、海藻・海草類はスジアオノリ、フトモズク、アマモ等の5種、動物では、貝類がアマガイ、アラムシロガイ、ツメタガイ、バテイラ等の40種、多毛類がスナイソゴカイ、ヤマトカワゴカイ等の3種、カニ類はオサガニ、ハクセンシオマネキ、マメコブシガニ等の17種、魚類はアユ、ニホンウナギの2種、その他はニホンスナモグリ、クルマエビ、ヒモイカリナマコ等の9種等でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生類、陸生無脊動物を含む。

図2 令和5年度出現種の分類群別種数（全体）

表1 (1) 令和5年度出現種一覧

分類群	No.	和名・種名	WL	分類群	No.	和名・種名	WL			
海藻類	緑藻類	1	アオサ属(アオサ型)		海藻類 (続き)	紅藻類 (続き)	78	ビリヒバ		
		2	アオサ属(アオノリ型)				79	フクロフノリ		
		3	アナアオサ				80	フシツナギ		
		4	ウスバアオノリ				81	フダラク		
		5	カイゴロモ				82	ベニスナゴ		
		6	シオグサ科				83	ペニマダラ		
		7	シオグサ属				84	ホソユカリ		
		8	スジアオノリ				85	マクサ		
		9	ヒトエグサ				86	マツノリ		
		10	ヒラアオノリ				87	ミゾゴノリ		
		11	ボウアオノリ				88	ミツデソソ		
		12	ホソジュズモ				89	ムカデノリ		
		13	ボタンアオサ				90	ユカリ		
		14	ミル				91	ワツナギソウ		
海藻類	褐藻類	15	アカモク		海藻類	藍藻類	92	アイミドリ		
		16	アミジグサ				93	ユレモ科		
		17	イソイワタケ				1	アマモ	C	
		18	イソモク				2	コアマモ	B	
		19	イロロ				植物	1	アイアシ	
		20	イワヒゲ					2	アカメガシワ	
		21	ウミウチワ					3	アキニレ	
		22	ウミトラノオ					4	アキノノゲシ	
		23	カジメ					5	アキノミチヤナギ	
		24	クロモ					6	アメリカナシカズラ	
		25	サナダグサ					7	アメリカフウロ	
		26	シオミドロ科					8	アレチウリ	
		27	シダモク					9	アレチギシギシ	
		28	シワノカワ					10	アレチススビトハギ	
		29	シワヤハズ					11	アレチノギク	
		30	タマハハキモク					12	イタドリ	
		31	ネハリモ					13	イヌコモチナデシコ	
		32	ヒジキ					14	ウシオツメクサ	
		33	フクロノリ					15	ウシオハナツメクサ	
		34	フトモズク	B				16	エノキ	
		35	ヘラヤハズ					17	エノコログサ	
		36	ホンダワラ属					18	オオイヌタデ	
		37	マメタワラ					19	オオオナモミ	
		38	ヤハズグサ					20	オオシマザクラ	
		39	ワカメ					21	オオブタクサ	
		海藻類	紅藻類	40				インダンツウ		22
41	イソハンモン				23	オンロイバナ				
42	イトグサ属				24	オツタチカタハミ				
43	イバラノリ				25	オニユリ				
44	エチゴカニノテ				26	カモジグサ				
45	エナシダジヤ			A	27	カラスムギ				
46	オオゴノリ				28	カワラヨモギ				
47	オオバツノマタ(ウチワツノマタ)				29	ギシギシ				
48	オキツノリ				30	ギョウギシバ				
49	オゴノリ				31	クコ				
50	オゴノリ属				32	クズ				
51	オバクサ				33	クスノキ				
52	カイノリ				34	コウボウシバ				
53	カギウスバノリ				35	コウボウムギ				
54	カニノテ				36	コセンダングサ				
55	カバノリ				37	コシキソウ				
56	キョウノヒモ				38	コハンソウ				
57	コザネモ				39	コマツヨイグサ				
58	コスジフシツナギ				40	コメツブウマゴヤシ				
59	コブソソ				41	コメツブツメクサ				
60	コメノリ				42	シオクグ				
61	ショウジョウケノリ				43	シナダレスズメガヤ				
62	シラモ				44	シロザ				
63	スギノリ				45	シロバナマンテマ				
64	ススカケベニ				46	ススキ				
65	ソソ属				47	スズメノチャヒキ				
66	タオヤギソウ				48	セイタカアワダチソウ				
67	タンバノリ				49	セイタカハハコグサ				
68	ツノマタ				50	セイバンモロコシ				
69	ツノムカデ				51	セイヨウカラシナ				
70	ツルシラモ				52	センダン				
71	ツルツル				53	センダングサ属				
72	トサカマツ				54	タチイヌノフグリ				
73	ニクムカデ				55	タチスズメノヒエ				
74	ハイテングサ				56	ツキミマンテマ				
75	ヒトツマツ				57	ツユクサ				
76	ヒメテングサ				58	ツルナ				
77	ヒラムカデ				59	テリハノイバラ				

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。  
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。  
 3) 種まで同定されていないもの(種数に含めない)。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする。

表1(2) 令和5年度出現種一覧

分類群	No.	和名・種名	WL	分類群	No.	和名・種名	WL		
植物 (続き)	60	ナガミノオシバ		貝類 (続き)	巻き貝類 (続き)	26	イボタマキビ		
	61	ナギナタガヤ				27	イボニシ		
	62	ナヨクサフジ				28	ウノアシガイ		
	63	ナルトサワギク				29	ウミニナ	C	
	64	ナンキンハゼ				30	ウミフクロウ		
	65	ネズミホソムギ				31	エドガワミズゴマツボ(ウミゴマツボ)		
	66	ネズミムギ属				32	オオヘビガイ		
	67	ノイバラ				33	オカダウミウシ		
	68	ノゲイヌムギ				34	オトメガイ		
	69	ノゲシ				35	カゴメガイ		
	70	ノブドウ				36	カスリアオガイ		
	71	ノラニンジン				37	カモガイ		
	72	ハマウド				38	カラマツガイ		
	73	ハマエノコロ				39	キロハケジタウミウシ		
	74	ハマエンドウ				40	キノハナガイ		
	75	ハマオモト				41	キヌハダウミウシ		
	76	ハマゴウ				42	クサイロアオガイ		
	77	ハマサジ				43	クチキレガイ		
	78	ハマダイコン				44	クビレクロツケガイ		
	79	ハマツメクサ				45	クモリアオガイ		
	80	ハマナデシコ				46	クリフレイシガイ		
	81	ハマヒルガオ				47	クロシタナシウミウシ		
	82	ハマボウ				48	クロスジムシロガイ		
	83	ハマボウフウ				49	クロツケガイ		
	84	ハマボウス				50	クロヘリアメフラシ		
	85	ハママツナ				51	ケムシヒザラガイ		
	86	ヒルザキツクミソウ				52	コウダカアオガイ		
	87	フタクサ				53	コウダカマツムシ		
	88	ブタナ				54	コガモガイ		
	89	ヘクソカズラ				55	コンシカガンガラ		
	90	ヘラオオハコ				56	コビトウラウスガイ		
	91	ホコガタアカザ				57	コベルトカニモリガイ		
	92	ホソバハマアカザ				58	コモレビコガモガイ		
	93	ホルトソウ				59	サザンカイモ		
	94	マサキ				60	シボリガイ	C	
	95	マツヨイグサ属				61	シマメノウフネガイ		
	96	ママコシリヌグイ				62	シラギクガイ		
	97	マメゲンバイナズナ				63	シラユキウミウシ		
	98	マンネングサ属				64	シロウミウシ		
	99	ミチヤナギ				65	スオウクチキレガイ		
	100	ムラサキカタバミ				66	スガイ		
	101	メキシコマンネングサ				67	スカシガイ属		
	102	メドハギ				68	スズメハマツボ		
	103	メハジキ				69	セズジミノウミウシ		
	104	メマツヨイグサ				70	タマキビガイ		
	105	ヤエムグラ				71	チグサガイ		
	106	ヤブカラシ				72	ツボミガイ	B	
	107	ヤブジラミ				73	ツメタガイ	C	
	108	ヨウシュヤマゴボウ				74	トゲモミジヒトデヤドリニナ		
	109	ヨシ				75	トコブシ		
	110	ヨモギ				76	ナギツボ		
	111	ランタナ(シチヘンゲ)				77	ネコジタウミウシ		
	貝類	ヒザラガイ類	1			ウスヒザラガイ	78	ハテイラ	
			2			クサズリガイ	79	ヒメコザラガイ	
			3			ケハダヒザラガイ	80	ヒメムシロガイ	
			4			サメハダヒザラガイ	81	ヒメヨウラクガイ	
			5			ヒザラガイ	82	ヒモイカリナマコツマミガイ	C
			6			ヒメケハダヒザラガイ	83	ヒラスカシガイ	
			7			ヤスリヒザラガイ	84	ヒラミルミドリガイ	
		巻き貝類	8			アオウミウシ	85	ブドウガイ	
			9			アオガイ	86	フトコロガイ	
			10			アカエラミノウミウシ	87	フトヘナタリ	C
			11			アカニシ	88	フレリトゲアメフラシ	C
			12			アカボシウミウシ	89	ペッコウガサガイ	
			13			アシヤガイ	90	ボサツガイ	
			14			アマオブネガイ	91	ホソウミニナ	C
			15			アマガイ	92	ホソスジアオガイ	
			16			アマクサアメフラシ	93	マダラウミウシ	
			17			アミメツツレウミウシ	94	マツバガイ	
			18			アメフラシ	95	マルウズラタマキビガイ	C
			19			アラムシロガイ	96	ミツクチキリオレガイ科	
			20			アラレタマキビガイ	97	ミドリアマモウミウシ	
			21			インダタミガイ	98	ミヤコドリガイ	C
			22			イシマキガイ	99	ムギガイ	
			23			イソニナ	100	メダカラガイ	
			24			イボウミニナ	101	ヨメガカサガイ	
			25			イボキサゴ	102	レイシガイ	

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。  
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。  
 3)      : 種まで同定されていないもの(種数に含めない。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする)。

表1(3) 令和5年度出現種一覧

分類群	No.	和名・種名	WL	分類群	No.	和名・種名	WL	
貝類 (続き)	二枚貝類 (続き)	103	アオカリガネエガイ		多毛類 (続き)	35	ヤッコカンザシゴカイ	
		104	アサリ			36	ヤマトカワゴカイ	
		105	イタボガキ科			37	多毛類	
		106	イタボガキ属		ヨコエビ・ワレカラ類	1	ウエンドロクダムシ	
		107	イワガキ	C		2	ウミモワレカラ	
		108	ウスカラシオツガイ			3	オオワレカラ	
		109	ウネナシトマヤガイ			4	カマテワレカラ	
		110	オオノガイ	C		5	トケワレカラ	
		111	オニアサリ	C		6	ドロクダムシ科	
		112	カガミガイ			7	ニホンドロソコエビ	
		113	カリガネエガイ			8	ハマトビムシ科	
		114	キクザルガイ			9	ヒゲツノメリタヨコエビ	
		115	キヌマトイガイ			10	フサゲモクス	
		116	クチバガイ	C		11	ボシエットゲオコエビ	
117	ケガキ		12	マルエラワレカラ				
118	コウロンカワヒバリガイ		13	メリタヨコエビ属				
119	コベルトフネガイ		14	モクスヨコエビ科				
120	サクラガイ	B	15	モズミヨコエビ				
121	セミアサリ		16	ヨコエビ類				
122	ソトオリガイ	B	フジツボ類	1	アメリカフジツボ			
123	トマヤガイ			2	イワフジツボ			
124	ナミマガシワガイ			3	カメノテ			
125	ニッポンマメアゲマキガイ	B		4	クロフジツボ			
126	バカガイ	C		5	サンカクフジツボ			
127	ヒバリガイ			6	シロスジフジツボ			
128	ヒバリガイモドキ			7	タテジマフジツボ			
129	ヒメアサリ			8	ドロフジツボ			
130	ヒメシラトリガイ	C		9	ヨーロッパフジツボ			
131	フクレユキミノガイ			ヤドカリ類	1	イソカナダマシ		
132	ベニハトタマエガイ				2	ケアシホンヤドカリ		
133	ホトギスガイ		3		ケフカヒメヨコバサミ			
134	マガキ		4		コブカナダマシ			
135	マツカゼガイ		5		コブヨコバサミ	C		
136	マテガイ	C	6		ツノヤドカリ属			
137	マルミミエガイ		7		テナガツノヤドカリ	C		
138	ミドリイガイ		8		ヒラケガニ			
139	ミミエガイ		9		フトウデネジレカナダマシ			
140	ムラサキイガイ		10		ホンヤドカリ			
141	ムラサキインコガイ		11		ユビナガホンヤドカリ			
142	ムラサキガイ	B	カニ類	1	アカイソガニ			
143	ヤマトシジミ			2	アカテガニ	C		
144	ユウシオガイ	C		3	アシハラガニ	C		
多毛類	1	Cirriformia属(ミズヒキゴカイ科)			4	イシガニ		
	2	Eulalia属(サンバゴカイ科)			5	イソガニ		
	3	Glycera属(チロリ科)			6	イッカククモガニ		
	4	Serpula属(カンザシゴカイ科)			7	イワガニ		
	5	Streblosoma属(フサゴカイ科)			8	オウギガニ		
	6	アシナガゴカイ			9	オサガニ	C	
	7	ウスマキゴカイ科			10	カクベンケイガニ		
	8	ウロコムシ科			11	ガザミ		
	9	エゾカサネカンザシゴカイ		12	キンセンガニ	C		
	10	オトヒメゴカイ科		13	クロベンケイガニ			
	11	カニヤドリカンザシゴカイ		14	ケフサイソガニ			
	12	カワゴカイ属		15	コメツキガニ科			
	13	クマドリゴカイ		16	シオマネキ	B		
	14	クマノアシツキ		17	シワオウギガニ			
	15	ケヤリムシ		18	スナガニ	C		
	16	ゴカイ科		19	スネナガイソガニ	C		
	17	サミドリサシバ		20	タイワンガザミ			
	18	サンハチウロコムシ		21	タカノケフサイソガニ			
	19	シリシ科		22	チチュウカイミドリガニ			
	20	スナイソゴカイ		23	トガリオウギガニ			
	21	セグロイソメ		24	トラノオガニ			
	22	タマシキゴカイ科		25	トリウミアカイソモドキ	B		
	23	チロリ科		26	ハクセンシオマネキ	C		
	24	ツルヒゲゴカイ		27	ヒメアカイソガニ			
	25	ナデシコカンザシゴカイ		28	ヒメアシハラガニ	B		
	26	ノリイソメ科		29	ヒメケブカガニ			
	27	ヒヤクメニッポンフサゴカイ		30	ヒメベンケイガニ			
	28	フサゴカイ科		31	ヒメヤマトオサガニ	B		
	29	ミズヒキゴカイ		32	ヒライソガニ			
	30	ミズヒキゴカイ科		33	ヒライソガニ属(ケアシヒライソガニ)			
	31	ミロクウロコムシ		34	フタバカクガニ	C		
	32	ムツエダカンザシゴカイ		35	フタバベニツクガニ			
	33	ムラクモケヤリ		36	マメコシガニ	C		
	34	ヤチウロコムシ		37	モクスガニ			

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。  
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。  
 3)     :種まで同定されていないもの(種数に含めない)。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする。

表1(4) 令和5年度出現種一覧

分類群	No.	和名・種名	WL	分類群	No.	和名・種名	WL	
カニ類 (続き)	38	ヤマトオサガニ	C	魚類	74	ヨウジウオ		
	39	ユビアカベンケイガニ	C	魚類 (続き)	75	ヨウジウオ科		
	40	ヨツハマゴガニ		昆虫類	1	アカバアバタウミベハネカクシ		
魚類	1	アイナメ			2	アミメアリ		
	2	アオタナゴ			3	ウスアカナギサハネカクシ		
	3	アカオビシマハゼ			4	オオアバタウミベハネカクシ		
	4	アカメバル			5	カタモンゴガネ		
	5	アゴハゼ			6	クロオオアリ		
	6	アサヒアナハゼ			7	サクラコブアブラムシ		
	7	アナハゼ			8	ヒラタトビムシ属		
	8	アミメハギ			9	モンシロチョウ		
	9	アユ			10	ムラサキウミトビムシ		
	10	イシガレイ		鳥類	1	アオサギ		
	11	イソギンボ			2	イソシギ		
	12	イソミズハゼ			3	ウミネコ		
	13	イダテンギンボ			4	カルガモ		
	14	イボダイ科			5	カワウ		
	15	ウマツラハギ			6	カワヒツ		
	16	ウミタナゴ属			7	キアシシギ		
	17	カサゴ			8	コアジサシ		
	18	カワハギ			9	コサギ		
	19	カワムツ			10	コチドリ		
	20	ガンテンイシヨウジ			11	スズメ		
	21	キチヌ			12	ダイサギ		
	22	キヌカジカ			13	チュウシャクシギ		
	23	キヌバリ			14	ツバメ		
	24	キュウセン			15	ドバト		
	25	ギンボ			16	トビ		
	26	クサフグ			17	ハクセキレイ		
	27	クジメ			18	ヒバリ		
	28	クロウシノシタ			19	ミサゴ		
	29	クロサギ			20	ムクドリ		
	30	クロダイ			両生類	1	ヌマガエル	
	31	コケギンボ科			爬虫類	1	カナヘビ	
	32	コモンフグ			2	ミシシッピアカミミガメ		
	33	ゴンズイ			その他			
	34	サザナミフグ			海綿類	1	イソカイメン属	
	35	サラサカジカ				2	カワナンカイメン属	
	36	シマイサキ				3	クロイソカイメン	
	37	シロギス				4	ダイダイイソカイメン	
	38	シロメバル				5	ナミイソカイメン	
	39	スズキ				6	ムラサキカイメン	
	40	スナビクニン				7	ユズダマカイメン	
	41	ダイナンギンボ			クラゲ類	8	アカクラゲ	
	42	タイ科				9	カギノテクラゲ	
	43	タケギンボ				10	ミスクラゲ	
	44	タケノコメバル				11	ユウレイクラゲ	
	45	タツノオトシゴ			イソギンチャク類	12	イソギンチャク目	
	46	チチブ				13	タテジマイソギンチャク	
	47	トビヌメリ				14	ニチリンイソギンチャク科	
	48	トラフグ属				15	ヒメイソギンチャク	
	49	ドロメ				16	ベリルイソギンチャク	
	50	ナベカ				17	ミドリイソギンチャク	
	51	ナルトビエイ				18	ヨロイイソギンチャク	
	52	ニホンウナギ			ヒラムシ類	19	イイジマヒラムシ	
	53	ハオコゼ				20	ウスヒラムシ	
	54	ハゼ科				21	オオツノヒラムシ	
	55	ヒイラギ				22	ヒラムシ目	
	56	ヒガンフグ				23	ミノヒラムシ	
	57	ヒメハゼ			ヒモムシ類	24	ヒモムシ類	
	58	ヒラメ				25	ミサキヒモムシ	
	59	ホウボウ				26	ミドリヒモムシ	
	60	ホシギンボ			ホウキムシ類	27	ヒメホウキムシ	
	61	ボラ			腕足類	28	スズメガイダマシ	
	62	ボラ科			コケムシ類	29	Bugulina stolonifera (フサコケムシ科)	
	63	ホンペラ				30	Schizoporella属	
	64	マコガレイ				31	コケムシ類	
	65	マダイ				32	サメハダコケムシ	
	66	マタナゴ				33	チゴケムシ	
	67	マハゼ				34	ハナザラコケムシ	
	68	ミズハゼ属				35	ホソフサコケムシ	
	69	ムスジガジ				36	モングチコケムシ	
	70	ムラソイ			頭足類	37	マダコ	
	71	メジナ				38	アオリイカ	
	72	メバル属(ムラソイ種群)				39	ヒメイカ	C
	73	メバル属(メバル複合種群)			ミズズ類	40	イソミズ	
				クモ類	41	テングダニ科		
				ウミグモ類	42	シマウミグモ		

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。  
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。  
 3) : 種まで同定されていないもの(種数に含めない。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする)。

表1(5) 令和5年度出現種一覧

分類群	No.	和名・種名	WL		
その他 (続き)	等脚類	43	イソコツブムシ属		
		44	キタフナムシ		
		45	コツブムシ科		
		46	シリケンウミセミ		
		47	ニセスナホリムシ		
		48	フクロムシ		
		49	フナムシ		
		タナイス類	50	キスイタナイス種群	
			51	タナイス科	
	アナジャコ類	52	スナモグリ属		
		53	ニホンスナモグリ	C	
		54	ハサミシャコエビ	C	
		55	ハルマンズナモグリ	C	
		56	ヨコヤアナジャコ	C	
	エビ類	57	アキアミ		
		58	アシナガスジエビ		
		59	イソスジエビ		
		60	イソテツポウエビ種群		
		61	イソモエビ		
		62	エビジャコ属		
		63	クルマエビ	C	
		64	スジエビモドキ		
		65	テツポウエビ属		
		66	ヌマエビ科		
		67	ホソモエビ		
		68	ユビナガスジエビ		
		ヒトデ類	69	イトマキヒトデ	
			70	キヒトデ(マヒトデ)	
	71		チビイトマキヒトデ		
	72		トゲイトマキヒトデ		
	73		ヌノメイトマキヒトデ		
	74		ヤツデヒトデ		
	クモヒトデ類		75	カキクモヒトデ	
		76	ナガトゲクモヒトデ		
		77	ニホンクモヒトデ		
	ウニ類	78	アカウニ		
		79	サンショウウニ		
		80	バファンウニ		
		81	ムラサキウニ		
	ナマコ類	82	ヒモイカリナマコ		
		83	マナマコ		
	ホヤ類	84	Botrylloides praelongus(イタボヤ科)		
		85	イタボヤ		
		86	イタボヤ科		
		87	エボヤ		
		88	カタユウレイボヤ		
		89	コバルトツツボヤ		
		90	シロボヤ		
		91	スジキレボヤ		
		92	ナツメボヤ		
		93	ナツメボヤ科(旧アスキジア科)		
		94	ナツメボヤ属		
		95	マンジュウボヤ		
		96	ユウレイボヤ		
		種類数(種確定)			592
	種まで確定しない種群数			75	
	合計			667	

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。

2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。

3)  : 種まで同定されていないもの(種数に含めない。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする)。

### 3. 調査シートのリスト掲載種の出現状況

#### 3-1. 令和5年度結果

調査シート掲載種の調査箇所別出現状況を表2に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表2 調査シート掲載種の調査箇所別出現状況（令和5年度）

分類群	No.	和名	地点No.															出現頻度						
			①	④	⑨	②	③	⑥	⑩	⑤	⑧	⑪	⑭	⑰	⑬	⑫	⑮							
		地点	須磨海岸	兵庫運河	住吉川河口	香櫛園浜	甲子園浜	成ヶ島	天保山	野島園臨港緑地	堺浜自然再生ふれあいビーチ	浜寺水路	高師浜	大津川河口干潟（左岸）	阪南2区造成干潟	近木川河口	櫻井川河口・岡田浦海岸	男里川河口干潟	せんなん里海公園	長松海岸	城ヶ崎（加太）			
海藻類	緑藻類	1 アナアオサ	●	●			●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	11	
		2 スジアオノリ										●				●								3
		3 オゴノリ	●															●						3
植物	1 オカビジキ					●	●									●	●	●	●	●	●	●	7	
	2 コウボウムギ	●				●	●																2	
	3 ハマウド							●												●			3	
	4 ハマゴウ	●			●	●	●																5	
	5 ハマダイコン					●	●	●									●	●	●	●	●	●	5	
	6 ハマボウフウ	●				●	●	●									●	●	●	●	●	●	6	
貝類	巻き貝類	1 アラレタマキビガイ	●	●	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	13	
		2 イシマキガイ(C)		●	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	9
		3 イボニシ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16
		4 タマキビガイ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16
		5 フレリトケアメフラン(C)										●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2
	二枚貝類	6 アサリ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16
		7 ウスカラシオツガイ		●			●				●	●	●	●	●	●								5
		8 ウネナシトマヤガイ		●			●				●	●	●	●	●	●								6
		9 クチバガイ(C)		●			●				●	●	●	●	●	●								7
		10 ケガキ	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●								8
		11 コウロエンカワヒバリガイ		●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
		12 マガキ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
		13 ムラサキイガイ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10
フジツボ類	1 アカフジツボ										●	●	●	●									0	
	2 アメリカフジツボ		●	●	●	●	●				●	●	●	●									8	
	3 クロフジツボ	●	●	●	●	●		●							●	●	●	●	●	●	●	●	8	
	4 シロスジフジツボ		●	●	●	●								●		●	●	●	●	●	●	●	5	
	5 タテジマフジツボ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	
	6 ドロフジツボ			●	●	●				●													3	
	7 ヨーロッパフジツボ			●	●	●				●				●									5	
ヤドカリ類	1 ホンヤドカリ		●					●								●	●	●	●	●	●	●	6	
	2 ユピナガホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16	
カニ類	1 アカテガニ(C)					●	●																2	
	2 アンハラガニ(C)				●	●												●					3	
	3 イソガニ	●	●	●		●			●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	
	4 オウギガニ		●			●														●	●	●	4	
	5 クロベンケイガニ			●		●										●	●	●	●	●	●	●	4	
	6 ケフサイソガニ	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
	7 スナガニ(C)				●	●																	2	
	8 タカメケフサイソガニ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
	9 チチュウカイミドリガニ					●				●	●	●											4	
	10 ハクセンシオマネキ(C)		●	●	●	●	●			●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	7	
	11 ヒライソガニ	●	●	●		●				●					●	●	●	●	●	●	●	●	12	
	12 ヤマトオサガニ(C)					●								●				●					2	
その他	1 多毛類	□	□	□	□	□			□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	16	
	2 ヨコエビ類	□	□	□	□	□			□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	18	
種類数(●)			18	25	18	16	26	25	4	14	10	16	19	19	12	22	16	23	19	15	13	42		

注) 1) ●:種まで同定されたもの □:種まで同定されていないもの(種数に含めない)。  
 2) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。  
 3) 地点 No.31,34 はいずれも近傍2地点を統合した。  
 4) 地点 No.13 は近傍3地点を統合した。  
 5) 網掛けセル( )は大阪湾海岸生物ウェルカムリスト(2022年版)の種で、( )内はランクを示す。



調査シートの一覧掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図3に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第24回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型や内湾～外海型の種の出現頻度が高く、マガキは19地点中18地点で確認されました。内湾～外海型の生物ではアサリ、イボニシ、タマキビガイがいずれも19地点中16地点で確認されました。河口型の生物ではケフサイソガニ、タカノケフサイソガニが19地点中いずれも15地点で確認されました。なお、今年度は調査シートに掲載された37種（海浜植物6種除く）のうちアカフジツボを除く36種がいずれかの地点で確認されました。

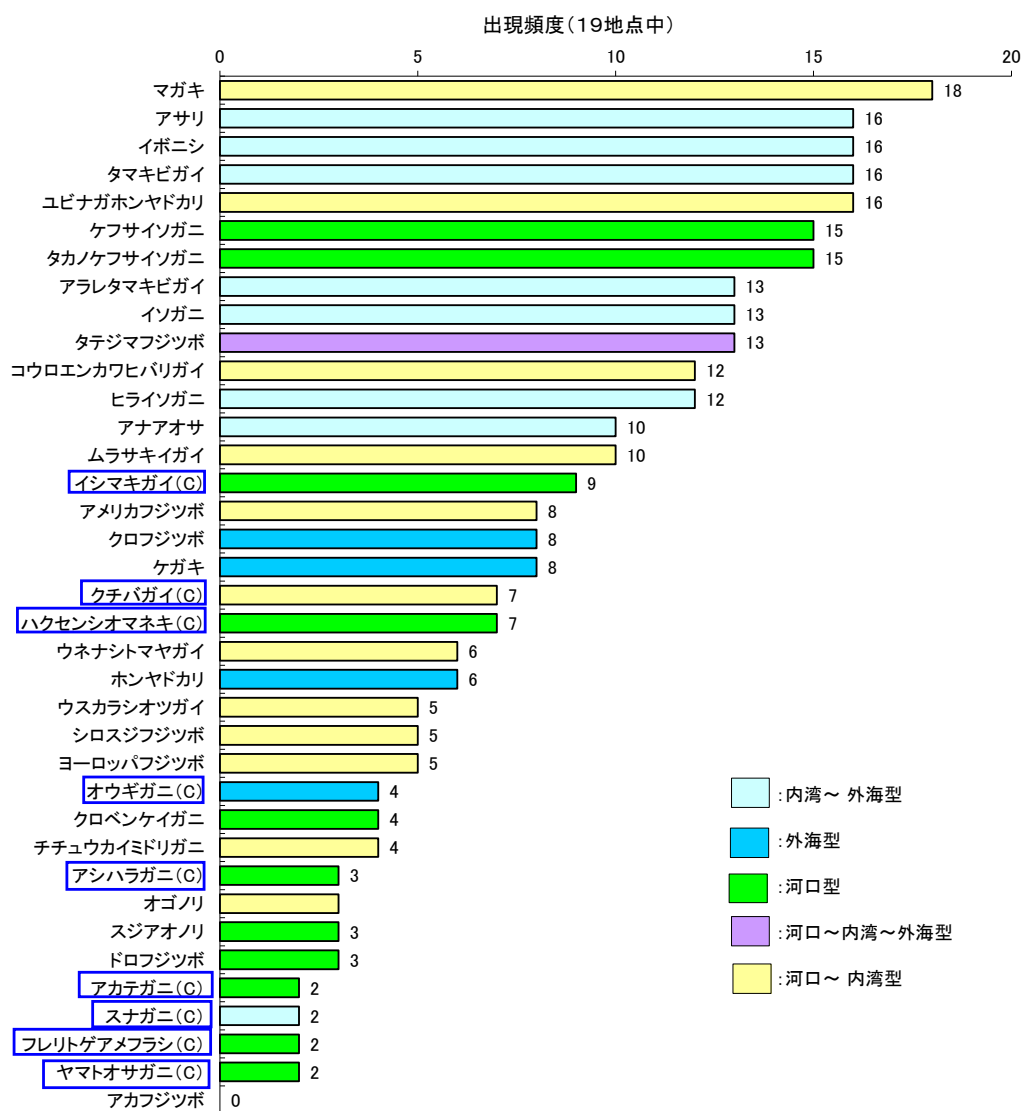
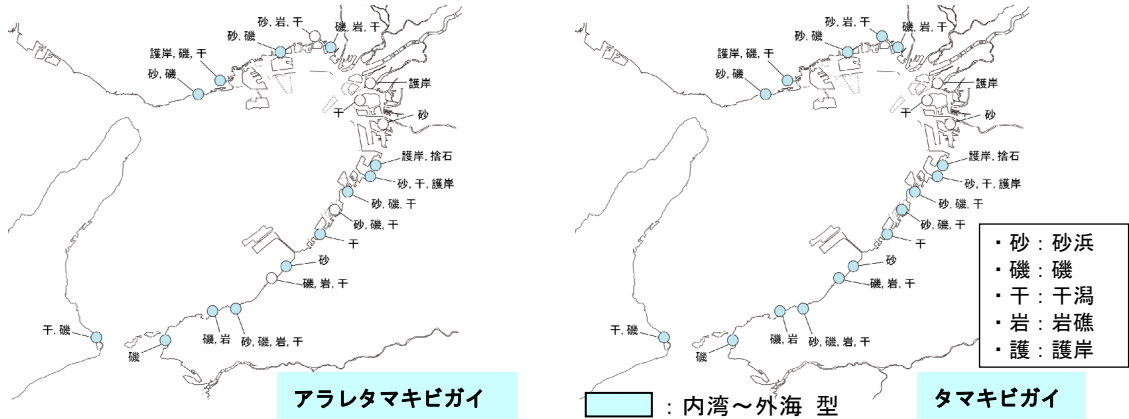


図3 調査シート掲載種の生態型と出現頻度（令和5年度）

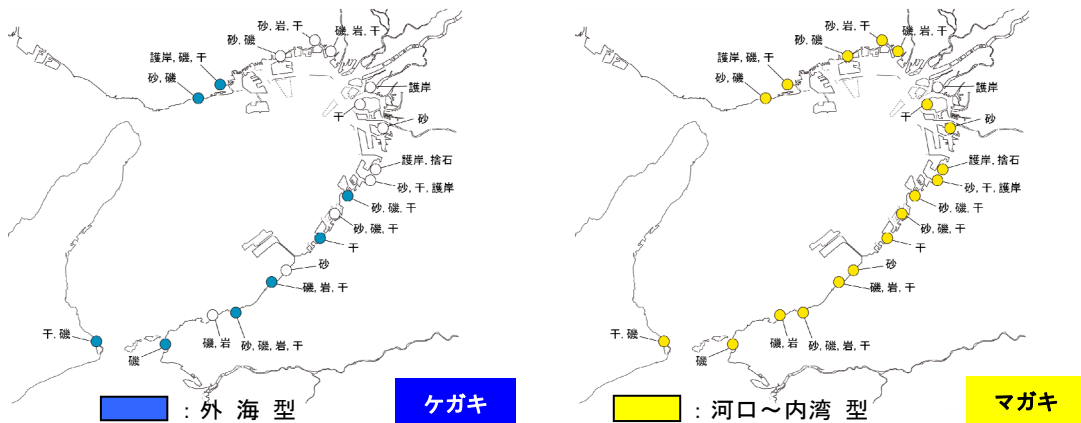
調査シートのリスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図4(1)～(4)に示しました。

**貝類・ヤドカリ類**

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型で、アラレタマキビガイは高潮帯の波しぶきの当たる所を好みますが、本年も静穏な湾奥まで広域で出現しました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、河口の一部を除くほぼ全域で出現しました。



- 外海型のケガキは湾中央域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



- 外海型のホンヤドカリは、兵庫運河～近木川河口ラインより湾口側で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは湾内のほぼ全域で出現しました。

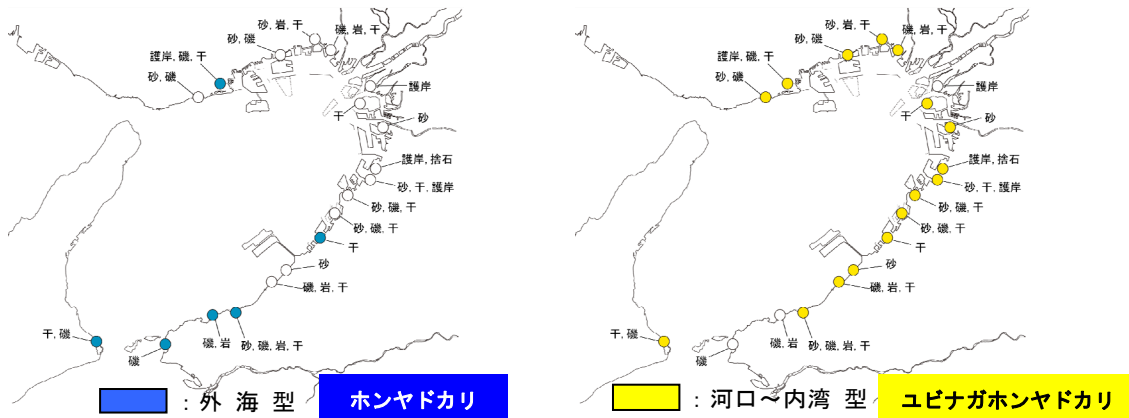
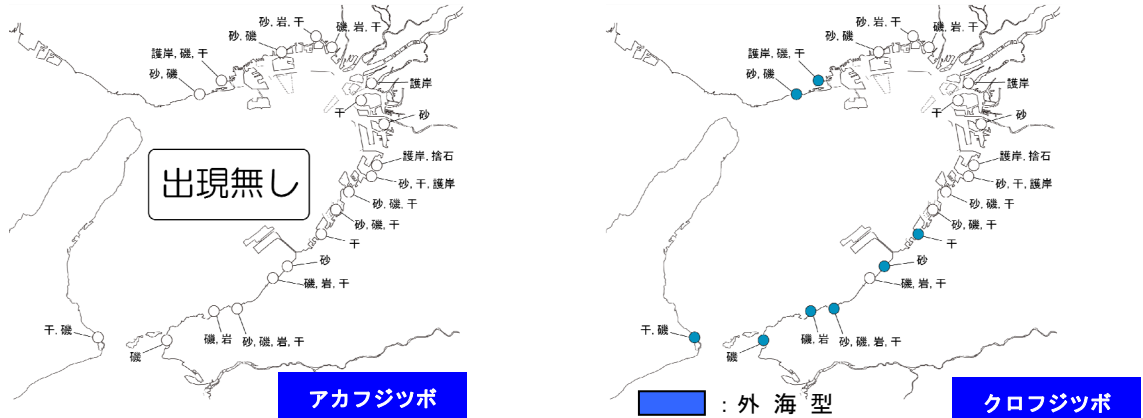


図4(1) 代表的な種の分布(貝類、ヤドカリ類)ー令和5年度

## フジツボ類

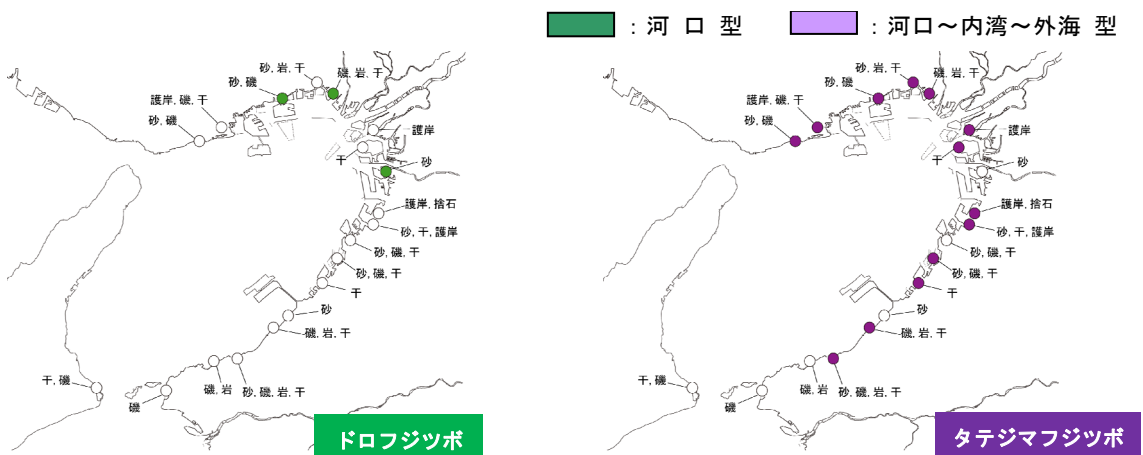
- 本年度は、外海型のアカフジツボは出現しませんでした。クロフジツボは兵庫運河～近木川河口ラインより湾口側で出現しました。



- 河口～内湾型のアメリカフジツボ、ヨーロッパフジツボは湾中央～湾奥部で出現し、シロスジフジツボは主に運河・河口地点で出現しました。



- 河口型のドロフジツボは湾奥で淡水の影響の強い河口付近の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口～湾奥部の多くの地点で出現しました。



- なお、アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

図4 (2) 代表的な種の分布 (フジツボ類) - 令和5年度

**カニ類**

● 砂浜に生息するスナガニは、主に湾奥の砂浜がある地点で出現しました。

砂浜に生息する



□ : 内湾～外海 型

**スナガニ (C)**

● 泥干潟に生息するヤマトオサガニは大津川・男里川などの主に河口や泥質干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の河口地点でも出現しました。

泥 <干潟に生息する> 砂泥、砂礫



**ヤマトオサガニ (C)**



**ハクセンシオマネキ (C)**

■ : 河口型

● アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニは河口にある地点等で出現しました。

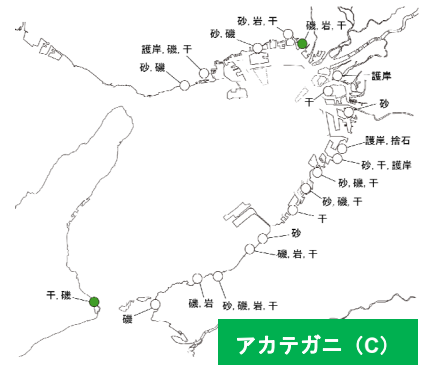
砂泥・粘土質 <河口のヨシ原等に生息する> 草地・崖・石垣



**アシハラガニ (C)**



**クロベンケイガニ**



**アカテガニ (C)**

■ : 河口型

図4 (3) 代表的な種の分布 (カニ類) - 令和5年度

**外来種**

- ミドリイガイは兵庫運河のみで出現しました。ミドリイガイは主に潮間帯下部～潮下帯に着生し、潮間帯の観察では見つけにくいため、出現地点は年により変わっています。

□ : 内湾～外海 型

- ムラサキイガイは湾中央～湾奥にかけて連続的に出現しました。

□ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイは湾中央～湾奥にかけて広く出現しましたが、チチュウカイミドリガニは湾中央～湾奥の少ない地点で出現しました。

□ : 河口～内湾 型

- 河口型のイガイダマシは、昨年に引き続き確認されませんでした。カニヤドリカンザシゴカイは兵庫運河のみで出現しました。河口～内湾型のウスカラシオツガイは湾中央～湾奥部で出現しました。



□ : 河口 型

□ : 河口～内湾 型

図4 (4) 代表的な種の分布 (外来種) - 令和5年度

### 3-2. 過年度との比較

調査シートのリスト掲載種について、平成 20～30 年度及び令和元～5 年度の調査結果を併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度の調査シート掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更している場合や、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

令和 2 年度以降の調査については、新型コロナウイルスの感染防止のため、調査時期が地点毎に異なっている場合や、調査人数を制限している場合があります。

このため、16 カ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数が近似しており、同様の種が確認されている場合が多いため、各調査地点における安定した出現特性が分かるようになってきました。

表3(1) 調査シートのリスト掲載種の地点別出現状況(平成20~30、令和元~5年)

調査地点No.		1	21	34	19	2	3	4	5
分類群	種名 \ 年(平成・令和)	アジュール磯子	アジュール磯子	アジュール磯子	アジュール磯子	アジュール磯子	アジュール磯子	アジュール磯子	アジュール磯子
		21	22	23	24	25	26	27	28
海藻類	緑藻類	アナアオサ	●	●	●	●	●	●	●
	紅藻類	スジアオノリ	●	●	●	●	●	●	●
植物	オカヒジキ	●	●	●	●	●	●	●	●
	コウボウムギ	●	●	●	●	●	●	●	●
	ハマウド	●	●	●	●	●	●	●	●
	ハマゴウ	●	●	●	●	●	●	●	●
	ハマダイコン	●	●	●	●	●	●	●	●
	ハマボウフウ	●	●	●	●	●	●	●	●
貝類	巻き貝類	アラレタマキビガイ	●	●	●	●	●	●	●
		イシマキガイ(O)	●	●	●	●	●	●	●
		イボニシ	●	●	●	●	●	●	●
		タマキビガイ	●	●	●	●	●	●	●
		フレリトゲアメフラシ(C)	●	●	●	●	●	●	●
	二枚貝類	アサリ	●	●	●	●	●	●	●
		ウスカラシオツガイ	●	●	●	●	●	●	●
		ウネナントマヤガイ	●	●	●	●	●	●	●
		クチバガイ(C)	●	●	●	●	●	●	●
		ケガキ	●	●	●	●	●	●	●
フジツボ類	アカフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	
	アメリカフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	
	クロフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	
	シロスジフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	
	タテジマフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	
	ドロフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	
	ヨーロッパフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	
ヤドカリ類	ホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	
	ユビナガホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	
カニ類	アカテガニ(O)	●	●	●	●	●	●	●	
	アシハラガニ(O)	●	●	●	●	●	●	●	
	イソガニ	●	●	●	●	●	●	●	
	オウギガニ	●	●	●	●	●	●	●	
	クロベンケイガニ	●	●	●	●	●	●	●	
	ケフサイソガニ	●	●	●	●	●	●	●	
	スナガニ(C)	●	●	●	●	●	●	●	
	タカノケフサイソガニ	●	●	●	●	●	●	●	
	チチュウカイミドリガニ	●	●	●	●	●	●	●	
	ハクセンシオマネキ(C)	●	●	●	●	●	●	●	
その他	多毛類	□	□	□	□	□	□	□	
	ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	
種類数(●の数)		18	16	12	15	17	17	18	16

注: 1) ●:種まで同定されたもの。 □:種まで同定されていないもの(種数に含めない)。出現頻度欄の"-"は対象外を示す。  
 2) 種名は各生物群中で五十音順。種名欄の淡紫色網掛けは大坂湾海岸生物ウエルカムリスト該当種を示し、( )内はそのランクを示す。  
 3) 平成20年度のリスト掲載種で出現せず、21年度ではリストから削除したヒトエグサ、ホンビノスガイ及びミナトオウギガニおよび、21年度にリストに追加したが確認されず22年にリストから削除したサキグロタマツメタの計4種については省略した。  
 4) 平成22年度の近木川河口については、両岸・左岸合体見直しで、クチバガイとヒライソガニが追加され、24種となった。  
 5) 大津川河口については、平成22年度までは右岸干潟で実施したが、23年度以降は通行不可のため左岸で実施した。津田川河口と茶屋川河口は平成20年に1回、海老江干潟は平成21、28年の2回のみのため、本経年表では省略した。  
 6) 平成27年度は地点No.26波有手海岸とNo.27深田漁港干潟、平成28年度はNo.29諏訪森海岸、平成29年度はNo.30浜寺水路、平成30年度はNo.31西鳥取海岸とNo.32箱作海岸、令和元年度はNo.33尾崎漁港西浜、令和2年度はNo.34兵庫運河を、それぞれ追加した。  
 7) 令和2年度は、No.34兵庫運河(新川橋河口)、No.2番榎園浜、No.20天保山、No.6野鳥園臨港緑地、No.13男里川河口干潟、No.26波有手海岸、No.31西鳥取海岸、No.32箱作自然海岸、No.14せんなん里海公園、及びNo.23長松海岸については春季(5~6月)に、No.21須磨海岸、No.34兵庫運河(材木橋)、No.3甲子園浜、No.4矢倉海岸、No.30浜寺水路、No.7高師浜、No.8大津川河口、及びNo.9阪南二区造成干潟については春季以外(7~10月)に実施された結果を示す。  
 8) 令和5年度は、No.26波有手海岸、No.31西鳥取海岸及びNo.32箱作海岸については調査シートの記載がないため掲載していない。









付表1(1) 令和5年度貴重種の出現状況一覧

分類群	No.	該当RDB等 和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省版 RL 3)	水産庁 RDB 4)	WWF干潟 RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	大阪湾ウエル カムリスト 7)	
海藻類	1	スジアオノリ				減少傾向				
	2	フトモズク							B	
	3	エナシダジヤ							A	
海藻類	1	アマモ		アマモ場(生態系):A					C	
	2	コアマモ	(絶滅危惧Ⅰ類)				希少		B	
植物 (調査シート掲載種)	1	コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類						
	2	ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類						
	3	ハマボウフウ		絶滅危惧Ⅰ類						
貝類	巻き貝類	1	アカニシ			減少	危険			
		2	アマガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
		3	アラムシロガイ							C
		4	イシマキガイ				減少			C
		5	イボウミナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類	B
		6	イボキサゴ	(準絶滅危惧)		準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	A
		7	ウミナ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧	C
		8	エドガワミズゴマツボ	(準絶滅危惧)		準絶滅危惧				
		9	クチキレガイ		情報不足					
		10	シボリガイ							C
		11	シラギクガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
		12	スオウクチキレガイ						準絶滅危惧	
		13	ツボミガイ	(準絶滅危惧)					準絶滅危惧	B
		14	ツメタガイ							C
		15	ナギツボ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		16	ハテイラ				減少			
		17	ヒメコザラガイ		準絶滅危惧					
		18	ヒモイカリナマコツマミガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		危険	絶滅危惧Ⅱ類	C
		19	フトヘナタリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	C
		20	フレリトケアメフラン							C
		21	ホウウミナ		絶滅危惧Ⅰ類					C
		22	マルウスズタマキビガイ					危険		C
		23	ミヤコドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類			危険	準絶滅危惧	C
	二枚貝類	24	イワガキ				減少傾向			C
		25	ウネナシトマヤガイ			準絶滅危惧		危険		
		26	オオノガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	C
		27	オニアサリ		準絶滅危惧					C
		28	カガミガイ		準絶滅危惧					
		29	クチバガイ			準絶滅危惧				C
		30	サクラガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	B
		31	ソトオリガイ		準絶滅危惧			危険		B
		32	ニッポンマメアゲマキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)					準絶滅危惧	B
		33	ハカガイ		準絶滅危惧					C
		34	ヒメアサリ		準絶滅危惧					
		35	ヒメシラトリガイ							C
		36	マツカゼガイ		準絶滅危惧					
		37	マテガイ	要注目	準絶滅危惧					C
		38	ムラサキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類	B
		39	ヤマトシジミ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		40	ユウシオガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	C
多毛類	1	カワゴカイ属の一種	(準絶滅危惧)							
	2	スナイソゴカイ	要調査							
	3	ヤマトカワゴカイ		情報不足						
ヨコエビ・ワレカラ類	1	ウエノドロクダムシ		情報不足						
ヤドカリ類	1	コブヨコバサミ							C	
	2	テナガツノヤドカリ			情報不足(海2017)			準絶滅危惧	C	
カニ類	1	アカテガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						C	
	2	アシハラガニ	(準絶滅危惧)						C	
	3	オサガニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧(海2017)			準絶滅危惧	C	
	4	キンセンガニ		準絶滅危惧					C	
	5	クロベンケイガニ	(準絶滅危惧)							
	6	シオマネキ		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	R希少	危険	絶滅危惧Ⅱ類	B	
	7	スナガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧					C	
	8	スネナガイソガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			希少	準絶滅危惧	C	
	9	トリウミアカイソドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧(海2017)		危険	準絶滅危惧	B	
	10	ハクセンシオマネキ	(準絶滅危惧)		絶滅危惧Ⅱ類		危険	準絶滅危惧	C	
	11	ヒメアシハラガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧(海2017)			準絶滅危惧	B	
	12	ヒメヤマトオサガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧(海2017)			準絶滅危惧	B	

付表1 (2) 令和5年度貴重種の出現状況一覧

分類群	No.	和名	該当RDB等	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省版 RL 3)	水産庁 RDB 4)	WWF干潟 RDB 5)	干潟の絶滅危惧動物図鑑 6)	大阪湾ウエルカムリスト 7)	
(カニ類)続き	13	フタバカクガニ		(絶滅危惧Ⅱ類)						C	
	14	マメコブシガニ		(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	C	
	15	モクスガニ					減少傾向				
	16	ヤマトオサガニ		(準絶滅危惧)						C	
	17	ユビアカベンケイガニ		(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧(海2017)			準絶滅危惧	C	
魚類	1	アユ			準絶滅危惧						
	2	ニホンウナギ		(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類					
その他	頭足類	1	ヒメイカ		絶滅危惧Ⅱ類		減少			C	
		2	ニホンスナモグリ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類					C	
	アナジャコ類	3	ハサミシヤコエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					C	
		4	ハルマンスナモグリ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類					C	
		5	ヨコヤアナジャコ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					C	
	エビ類	6	エビジャコ属の一種	(絶滅危惧Ⅱ類)							
		7	クルマエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧						C
	ウニ類	8	アカウニ				減少傾向				
	ナマコ類	9	ヒモイカリナマコ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧			危険			

注)

1) 兵庫県版 レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)、レッドリスト2020(植物・植物群落)、兵庫県版レッドデータブック2017(魚類)  
( )は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリーに置換したもの。

2) 大阪府 レッドリスト2014

3) 環境省 レッドリスト(2020)、海洋生物レッドリスト(2017)

4) 水産庁 1998:日本の希少な野生水生生物に関するデータブック.社団法人日本水産資源保護協会 437pp.東京.  
評価「普通」は省略した。

5) WWF Japan Science Reprint vol.3,1996.

6) 日本ベントス学会編 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック- 東海大学出版会. 神奈川県. 285pp.

7) 大阪湾海岸生物ウエルカムリスト(無脊椎動物・海藻・海草、2022年版)は1)~6)で選定した貴重種について該当状況を示した。

8) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物を対象とし、陸上植物は本調査の調査シート掲載種に限定した。

9) 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。

絶滅危惧Ⅰ類:現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。

絶滅危惧Ⅱ類:現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。

準絶滅危惧:現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

情報不足:評価するだけの情報が不足している種。

地域個体群:地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

要注目種(兵庫):最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。

要調査種(兵庫):環境省レッドデータブックの情報不足に相当。兵庫県において評価するに足るデータがない種。

要注目種(大阪):「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。

減少傾向(水産庁):長期的にみて減少しつつあるもの。

減少(水産庁):明らかに減少しているもの。

希少(水産庁):存続基盤が脆弱な種・亜種。

危急(水産庁):絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。

危険(WWF):絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。

希少(WWF):特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。「普通/希少」は地域により評価が異なる場合。

10) 表中網掛けは、評価指定後、今年度初確認の貴重種を示す。従って、評価指定以前に出現している場合もある。

11) 貴重種記載資料の該当府県の場所では出現していない場合もある。

#### 4. 調査テーマ「スジエビ類」の結果

今年度の調査ではスジエビ類に注目しました。

19地点中、汽水性のユビナガスジエビが10地点、スジエビモドキが9地点と多く確認されました。外海性のアシナガスジエビは成ヶ島、イソスジエビは城ヶ崎（加太）のそれぞれ1地点で確認されました。

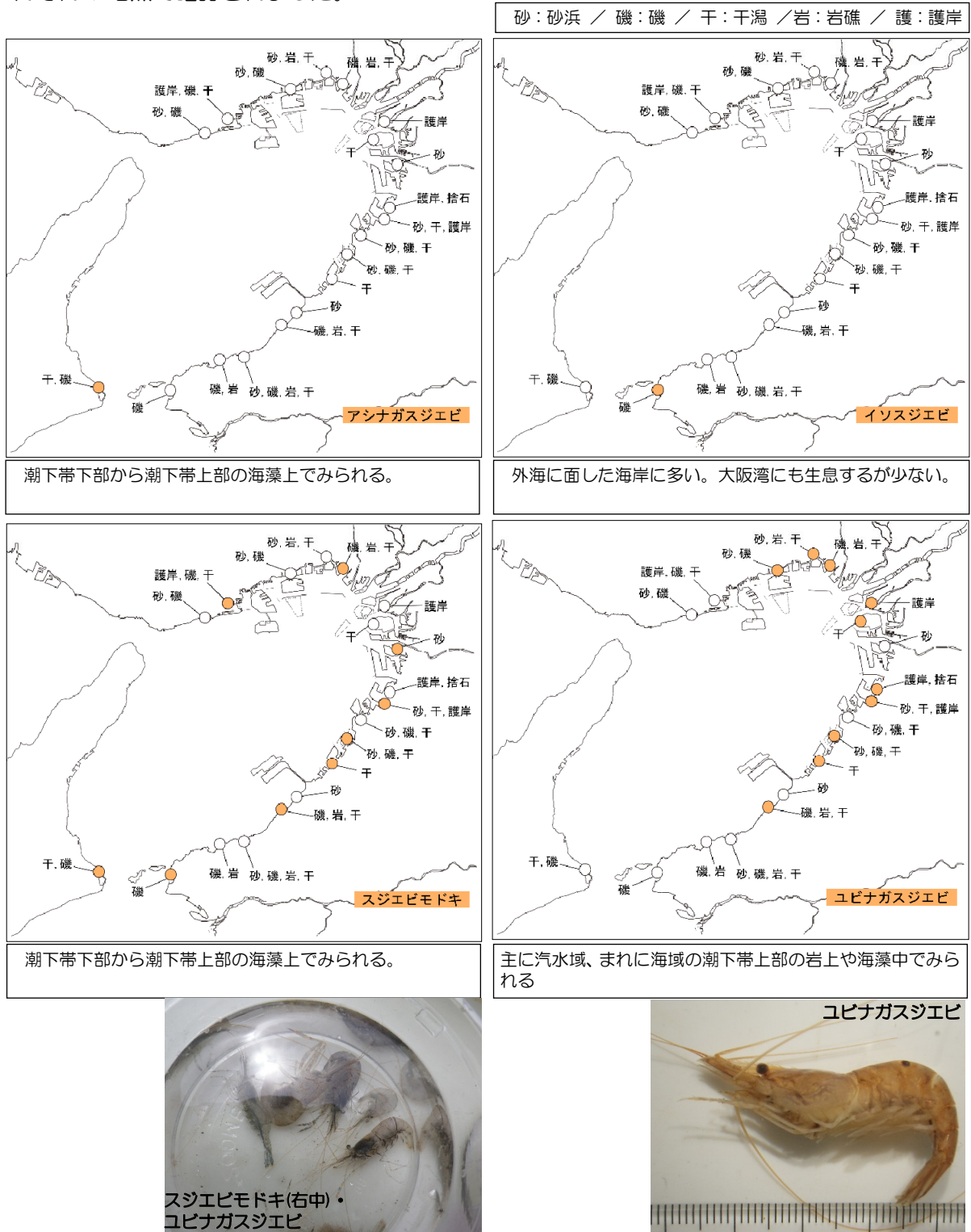


図5 スジエビ類の出現状況（令和5年度）

## 5. アマモ場調査

アマモ場を造成している地点では、アマモ場の生き物について調査を実施しました。

アマモは海草の一種で、波が穏やかな、太陽の光が届く浅い砂地の海辺に生えます。アマモがたくさん生えている場所を「アマモ場」と呼びます。「アマモ場」は小さな魚の隠れ処になったり、魚やイカが産卵する場所になります。そのため、「海のゆりかご」とも呼ばれます。

波有手海岸では 29 種の生物が確認され、植物が最も多く 25 種、海草類、海藻類、巻き貝類、二枚貝類は各 1 種ずつ確認されました。西鳥取海岸では 90 種の生物が確認され、海藻類が最も多く 26 種、次いで植物が 25 種、魚類が 20 種でした。箱作自然海岸では 66 種の生物が確認され、植物が最も多く 25 種、次いで魚類が 15 種、海藻類が 10 種でした。

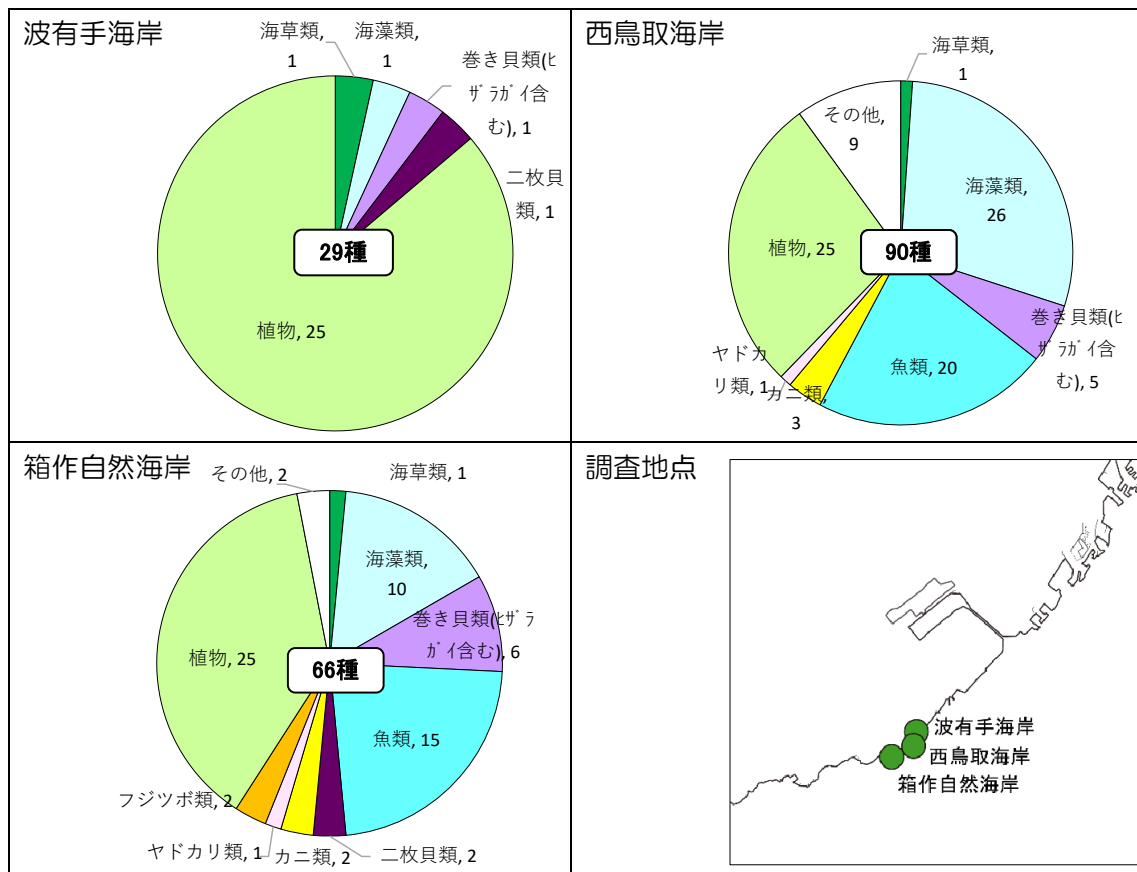


図 6 アマモ場調査の生物確認状況（令和 5 年度）



## 7. スナメリ調査

5月10日に下図に示す経路で調査を実施しました。

今回の調査ではスナメリを確認できませんでした。

かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にする  
ことがなくなりました。

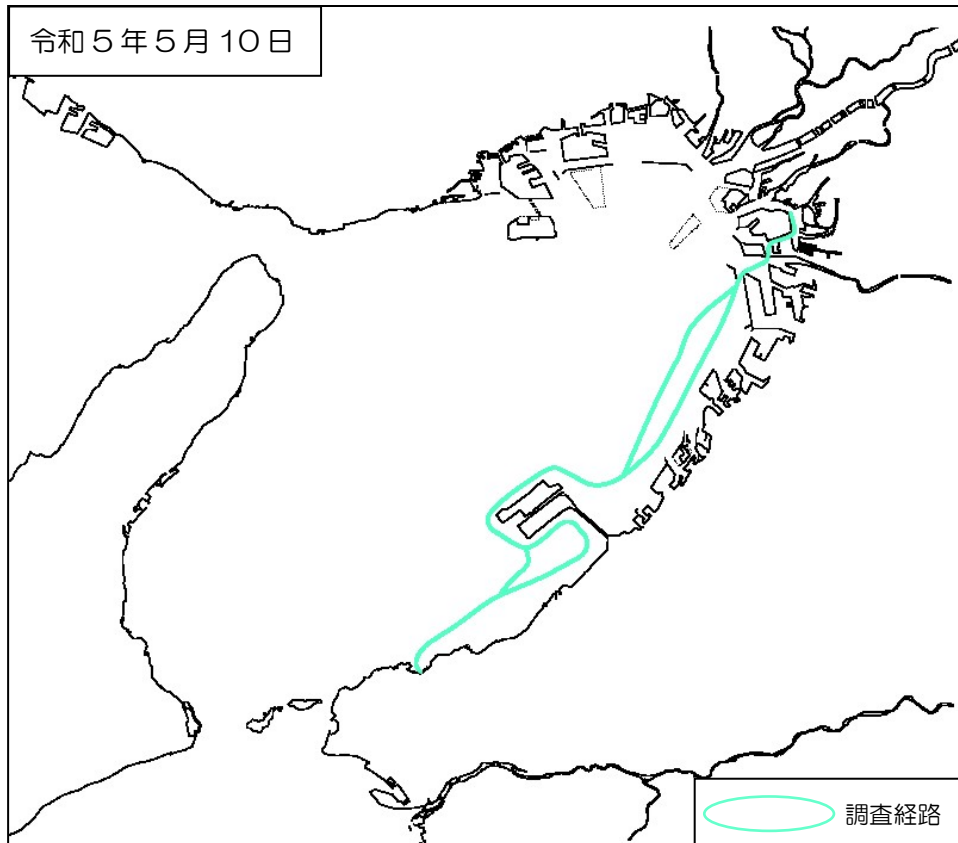


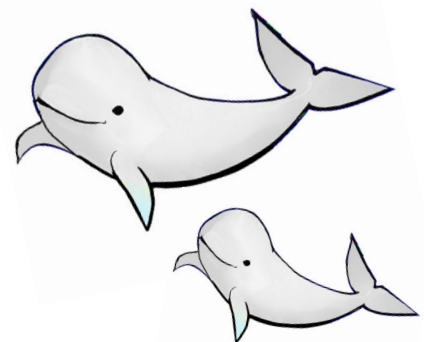
図7 スナメリ調査の経路と確認状況（令和5年5月10日）

### 【スナメリとは？】

水産庁のレッドデータブックに掲載されています。

- 英名：Finless porpoise
- 学名：*Neophocaena asiaeorientalis*
- 地方名：ナメ・ナメリ など
- 分類：クジラ目ハクジラ亜目 ネズミイルカ科
- 体長：最大2m程度
- 大阪湾におけるスナメリの生態的位置づけ：

スナメリの生息は健全な沿岸生態系のひとつの指標



スナメリ